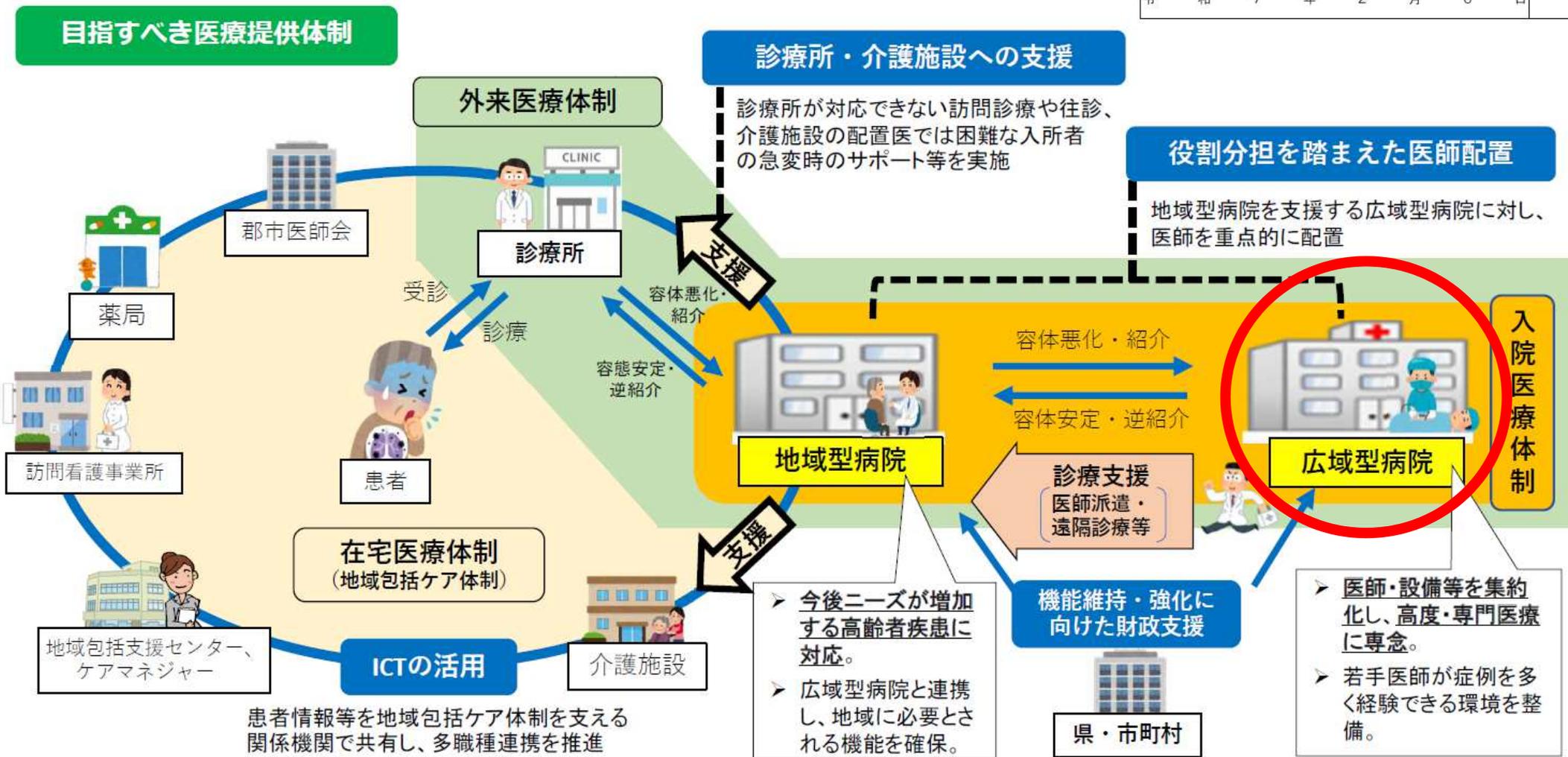


參考資料

国・県が推進する地域医療構想のグランドデザイン 資料1

令和6年度第2回北信医療圏会	資料3
令和7年2月6日	



＜地域型病院・広域型病院が持つ機能として想定するもの＞

地域型病院



＞ 地域包括ケア体制の要となる機能(地域密着型)

【想定する診療機能】

- ・総合診療を提供する機能
- ・他の急性期病院で治療を受け、引き続き入院医療が必要な患者の受入機能
- ・在宅医療を提供する機能(訪問診療、往診、看取り等)
- ・在宅医療を担う診療所や介護施設等を支援する機能(診療所等の医師不在時における支援、レスパイト入院等)
- ・在宅や介護施設等で急変した患者の受入機能
- ・リハビリテーションを提供する機能
- ・長期療養が必要な患者の受入機能

＞ 平日の二次救急患者や休日・夜間の救急患者を受け入れる機能(地域救急型)

【想定する病院】

救急告示病院、病院群輪番制参加病院

＞ 一部の診療領域に特化した機能(地域専門型)

【想定する診療領域】

脳神経外科、精神科、産婦人科 等

広域型病院



＞ 高度・専門的な医療を提供する機能

【想定する診療機能】

- がん：都道府県がん診療拠点病院、がん診療連携拠点病院 等
- 脳卒中：脳血栓溶解療法(rt-PA)、脳外科手術、脳血管内手術が可能 等
- 心血管疾患：大動脈解離、心臓カテーテル治療が可能 等
- 精神疾患：依存症治療拠点機能、児童思春期精神科医療、災害時精神医療分野等における県の拠点機能 等
- 救急医療：救命救急センター 等
- 災害医療：災害拠点病院
- 周産期医療：総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センター
- 小児医療：小児中核病院、小児地域医療センター
- 感染症：第一種、第二種感染症指定医療機関 等
- 医師派遣：医師が多数在籍し、医師派遣等により中小病院・診療所を支援する機能

当院の入院機能は全て満たしている

しかし、外来機能は満たしていない

医療提供体制の「グランドデザイン」の概要

- 医療ニーズが変化し、医療サービスの担い手の減少が加速化していく2040年を含む中長期を見据え、限られた医療資源を最大限有効に活用する観点から、入院・在宅・外来医療体制について、医療機関間の更なる役割分担と連携を推進。

【入院医療体制】

「地域型病院」と「広域型病院」による役割分担と連携を推進。

【在宅医療体制】

「地域型病院」を中心にした連携体制を強化するとともに、ICTを活用した患者情報等を共有する取組を積極的に推進。

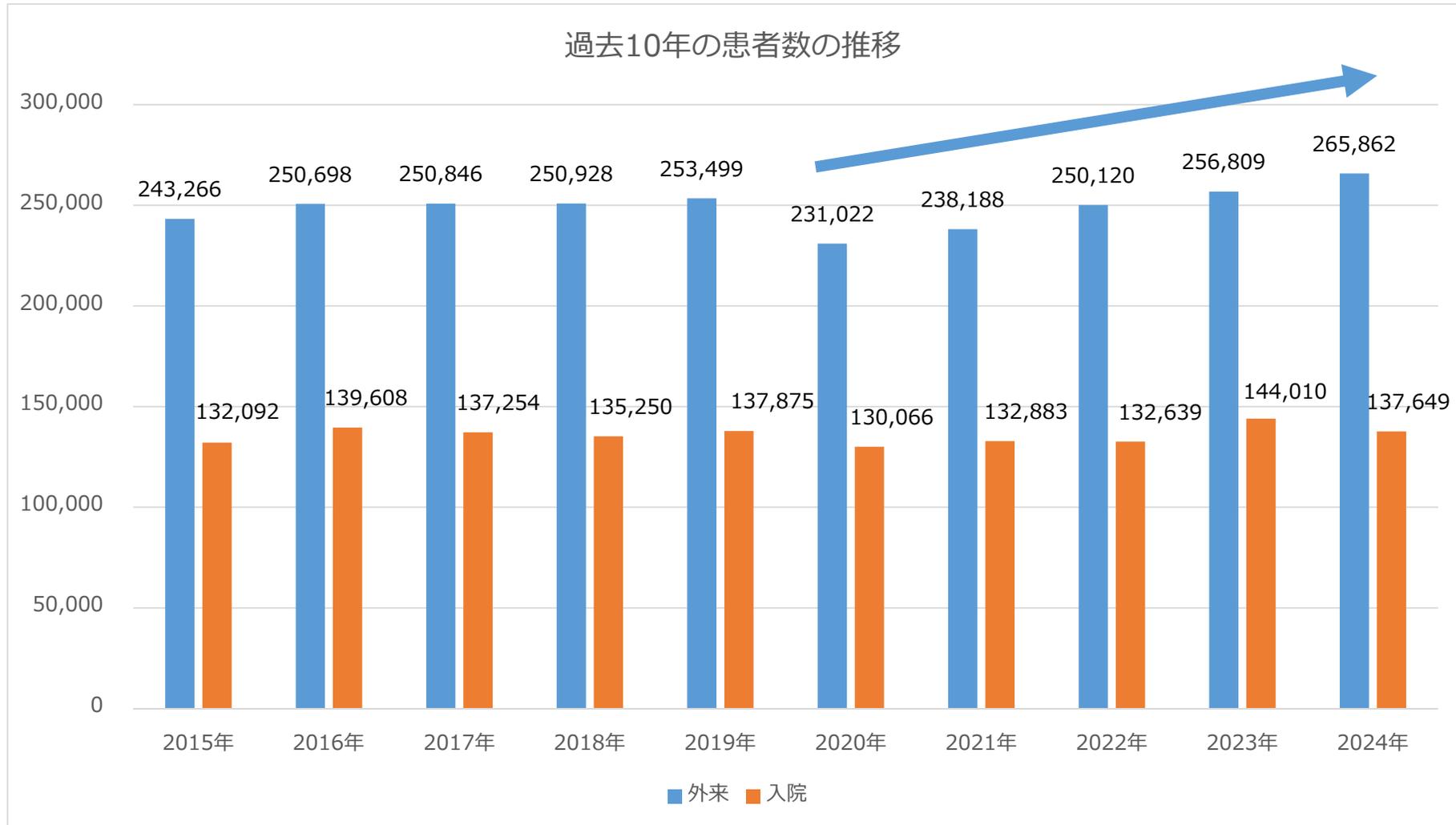
【外来医療体制】

「かかりつけ医機能を担う医療機関（診療所、地域型病院）」を明確化するとともに、それらと「紹介患者を中心に診る医療機関（広域型病院）」による役割分担と連携を推進。

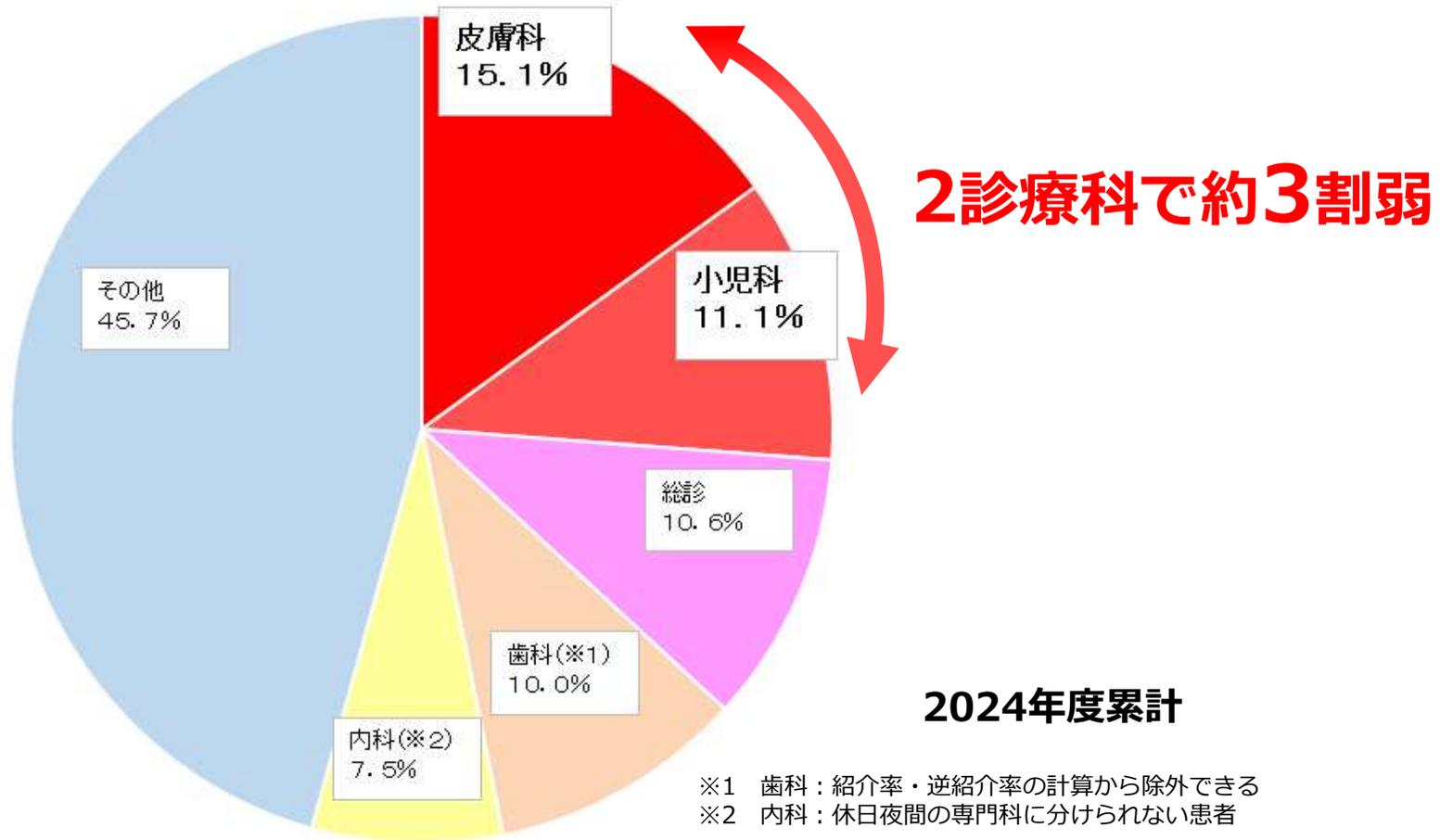
**長野県内の400床以上の急性期病院で
紹介受診重点医療機関および地域医療支援病院の
指定を受けていないのは、当院のみ**

外来患者数は、年々増加しており忙しさが増している・入院患者数は、ほぼ横ばいだが・・・

資料4



初診患者数の3割弱を,皮膚科と小児科の2診療科が占めている

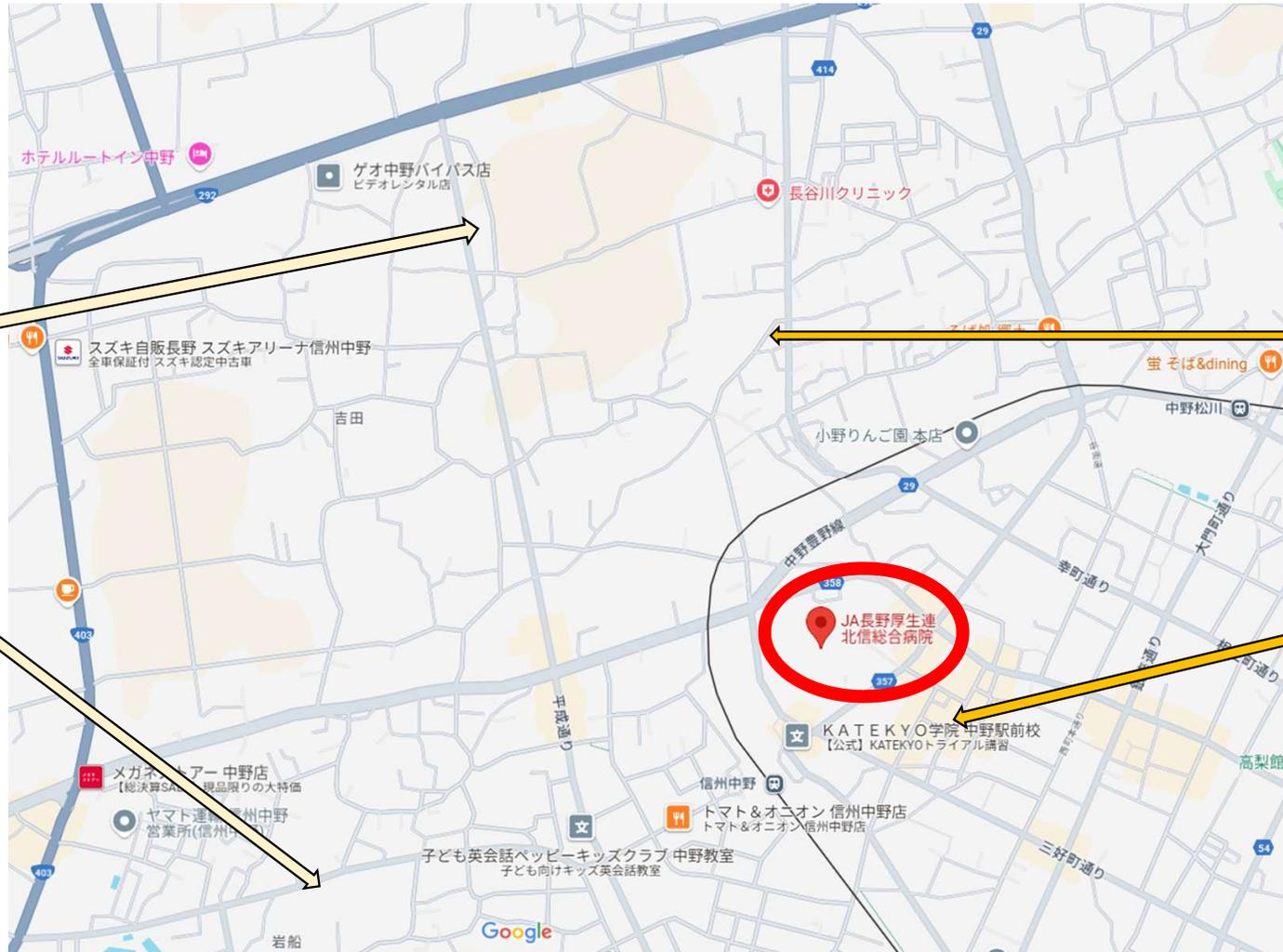


そもそもクリニックが少ない

資料6

【小児科】
はんだクリニック

【小児科】
今井こども医院



【泌尿器科・皮膚科】
三沢クリニック

【内科・泌尿器科
・外科・皮膚科】
広田医院

**小布施以北で、皮膚科の初診専門外来は北信病院のみ
小児科は、中野市の補助で、クリニックで初診の場合、全く医療費がかからない= 0円**

紹介・逆紹介率について

	R5年度	適合	R6年度	適合	R7年度 (4~9月)	適合
紹介率 (50%以上)	34.8%	×	42.6%	×	55.6%	○
逆紹介率 (40%以上)	34.5%	×	42.0%	○	59.1%	○

令和7年度の推移 (%)

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月
紹介率	46.2	50.3	53.2	67.6	58.3	61.6
逆紹介率	56.5	54.4	52.8	65.8	64.8	63.4

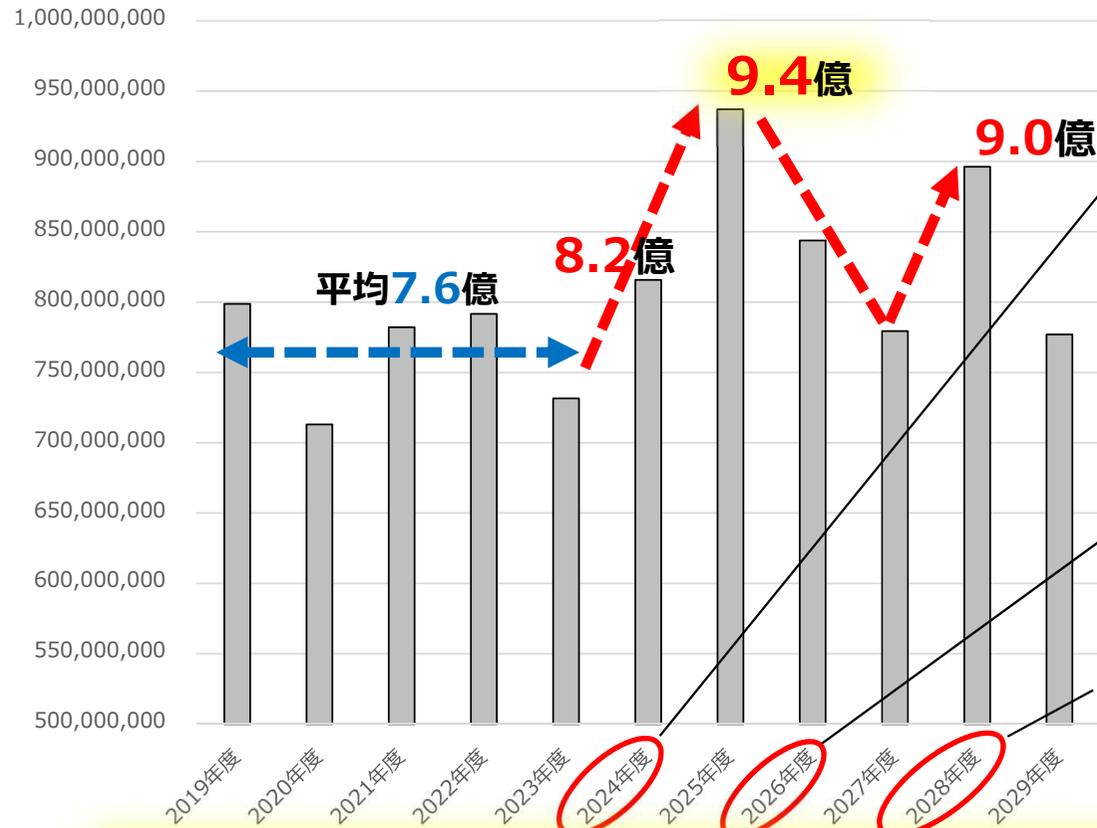
*7月北信クリニック開業

	R7年 4月~6月	5月~7月	6月~8月	7月~9月
紹介率	49.9	57.0	59.7	62.5
逆紹介率	54.6	57.7	61.1	64.7

JA長野厚生連 北信総合病院

施設整備

減価償却費の推移



2024年度
10億円を超える医療器械等の更新を行いました

5月	医療用画像管理システム (PACS)	2.6億
10月	放射線治療装置 (リニアック)	5.3億
		(補助金1.9億)
12月	血管撮影装置 (シネアンギオ)	2.3億
		(補助金0.5億)

2025年度
MRI 2.7億円の更新を行いました
※2026年度の減価償却費が増加

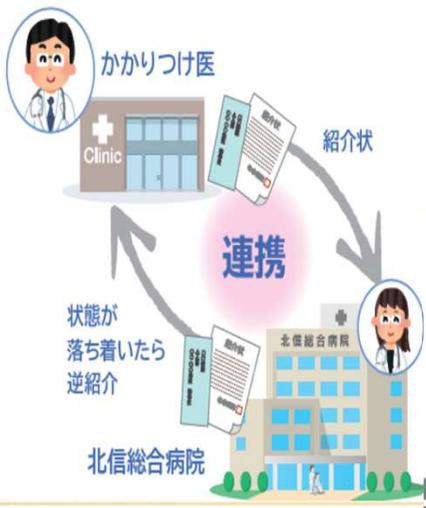
2027年度下期 **電子カルテ 約6億円**の更新を控えています
※2028年度の減価償却費が増加

今年度は最も厳しい状況で、いつまでも解消されない

私たちは紹介受診重点医療機関の指定を目指しています

紹介受診重点医療機関について

紹介受診重点医療機関は、外来機能の明確化・連携強化し、患者さんの流れを円滑にするために都道府県ごとに決定される医療機関です。患者さんがまず地域の「かかりつけ医」(かかりつけ医機能を担う医療機関)を受け、必要に応じて紹介を受け、紹介受診重点医療機関を受診し、その後、状態が落ち着いたら逆紹介を受け地域のかかりつけ医に戻る流れを明確にするのが目的です。



当院のある北信医療圏は他の地域に比べ診療所の医師が著しく少ないため、どのような疾患でも地域の医療機関より先に病院を受診する人が多い傾向にあります。まずは「かかりつけ医」をつくり、必要に応じて紹介を受け専門的な医療を受けていただくことをおすすめします。今後当院は、**外来機能の明確化・連携を強化し、患者さんの流れを円滑にするため紹介受診重点医療機関をめざします。**



POINT 1 「かかりつけ医」とは

- ①健康に関することを何でも相談できる。
- ②必要なときは**専門の医師・医療機関を紹介**してくれる。
- ③身近で**頼りになる医師**です。



POINT 2 「かかりつけ医」をもつメリットは?

- ①**日頃の健康状態**を知ってもらえます。
- ②症状に応じた**専門家の紹介がスムーズ**です。
- ③**病気の予防や早期発見・早期治療**にもつながります。

このほかにも、些細なことでも健康状態の変化を話しやすかったり、「どうするとよいか」適切な判断を知ることができたり、家族の健康についても相談しやすく安心です。



POINT 3 一方、病院受診の際には、

- 紹介状により**治療経過・処方内容が事前に分かるため**、長い待ち時間が解消され**診療がスムーズ**に行われます。



広報の事例（一部） 資料9

2024年

- ・北信総合病院だよりや信州毎日新聞、北信ローカルで周知
→地域住民、受診患者、職員へ

- ・医療連携交流会
→医師会等の先生方へお話

- ・病院祭
→地域住民、受診患者、職員へパネル展示、その後院内掲示にて周知

- ・中高医師会理事会
→かかりつけ医がある方への当院受診に際してのお願いについて説明・依頼

- ・「かかりつけ医を持ちましょう」 「北信総合病院周辺医療機関一覧」を作成、外来にて説明・配布

- ・医療連携交流会
→医師会等の先生方へ

2025年

- ・北信クリニック開院

病院創立80周年記念事業の一環として、 2025年7月1日に “北信クリニック”を開院



木のぬくもりを感じ、子供も楽しめる、本院とは一味違った癒しの空間
冬場の寒さ対策としてペレットストーブを導入し、待合では炎を見ながらくつろげる。

2025年8月20日
日本農業新聞
全国版5面掲載記事

紹介・逆紹介に苦戦している、地方の
病院のモデルケースとなりうるか。

皮膚科・小児科を分離 クリニックに

初診費用負担大幅減へ

J A長野厚生連北信総合病院（中野市）は、本院に隣接して皮膚科と小児科のクリニックを開設した。本院の皮膚科と小児科を分離することで、初診患者の費用の負担を大幅に抑え、より病院にかかりやすい環境を整える。本院の医療提供体制の強化や地域の診療所の混雑緩和など、地域医療の充実も狙う。

J A長野厚生連北信総合病院



荒井統括院長（左）から説明を受けながら、小児科の診察室を視察するJ A中野市の望月隆組長（長野県中野市で）

同病院によると、皮膚科の専門医は北信地域では同病院にしか在籍しておらず、住民のかかりつけとなる小児科の開業医も少ない。そのため、専門医へのアクセスや、小児科の混雑は地域の課題だった。初診で中核病院で

ある北信総合病院を受診せざるを得ないケースも多い。紹介状を持たずに受診した場合、別途「初診時選定療養費」（3850円）がかかる。同病院の初診患者数の3割近くは、両科が占めている。一方で、

同病院は地域の中核病院として、より専門的な医療を提供するため「紹介受診重点医療機関」の指定を目指す。指定されれば、「初診時選定療養費」が7700円と、現在の2倍に上がる。クリニックの開設

は、紹介受診重点医療機関の指定を受けた後も、両科の初診時に発生する患者負担を抑え、地域住民が医療を受けやすい環境を提供するのが目的だ。荒井裕国統括院長らは、昨秋からクリニックの開設備を進めてきた。新設したクリニックでは、初診時選定医療費は不要となる。J A長野厚生連によると、患者の経済的負担の軽減へクリニックを開設するのは、県内の厚生連病院では初めての試みだという。

クリニックの開設で、本院が紹介受診重点医療機関の指定要件を満たすことも立った。これまで紹介・逆紹介率の要件が満たせず、県内の400床以上の急性期病院で本院だけが紹介受診重点医療機関の指定を受けられていなかった。クリニックと連携することで、紹介・逆紹介率の向上が確実となった。荒井統括院長は「これからも、地域に根差した医療体制を提供していく。クリニックの開設で住民の経済的負担を軽くし、必要な医療を届けられる環境を整えたい」と展望した。

（岩下響）

デジタル推進 スマート農業支

神奈川県・J A相模原市

【神奈川県・相模原市】J A相模原市は8月、デジタル技術を中心とした内外環境の変化に柔軟に対応するため、「DX（デジタルトランスフォーメーション）取り組み宣言」を行った。DXの取り組みをJ A内で完結させるだけでなく、J Aと組合員、組合員間とい

ったさまざまな場面に応じて対応していくことを重視。未来志向で考え、できることから実践する。宣言は、デジタル技術を最大限活用した業務プロセスの刷新や、将来に向けた新たな価値を創造していくための方向性を示すものとした。また、全てをデ

○地域での丁寧な説明について

時期	内 容	対象
2023(R5)年9月	・病診連携報告会において荒井統括から地域の開業医に向けて「北信総合病院の現状と課題」について報告	地域医療機関
11月	第60回病院祭 公開講座「皆さんとともに歩む地域医療の未来へ」 荒井統括から、当院の置かれた状況と今後の方向性についての講演	一般
2024(R6)年1月	今後の選定療養費7,700円義務化を見据え、1,650円（税込）⇒3,850円（税込）に値上げすることの説明開始	一般
4月	選定療養費を1,650円（税込）⇒3,850円（税込）に値上げ	
6月	医療連携交流会にて中高・飯水・須高医師会等の先生方に現状報告	地域医療機関
11月	第61回病院祭において医療機関の役割についてパネル展示を実施 地域のかかりつけ医と北信総合病院が連携して患者さんの健康をサポートすること、医師の働き方改革、紹介受診重点医療機関、選定療養費についても合わせて説明。 引き続き、ホスピタルストリートにて掲示中 ・県からの資料を用いて外来に掲示・患者さんに配布	一般
12月	・中高医師会理事会にて、かかりつけ医がある方へ当院受診に際してのお願いについて説明・依頼	地域医療機関
	・かかりつけ医がある患者さんに対してのお願い文書を作成し、各科外来にて対象者に説明・配布開始 ・リーフレット「かかりつけ医を持ちましょう」、「北信総合病院周辺医療機関一覧」を作成、外来にて説明・配布 ・紹介状を持たずに直接来院された患者さんに対し、総合案内での説明を引き続き実施中	一般
2025年3月	中高医師会拡大理事会、臨時総会にて荒井統括院長から当院の置かれた状況、今後の方針について説明	地域医療機関
6月	医療連携交流会にて中高・飯水・須高医師会等の先生方にクリニック開業について説明・報告	地域医療機関
7月	北信クリニック開院 新聞折込チラシにて選定療養費の説明	一般
10月	10/18中野市健康フェスティバル 10/19野沢温泉村、10/25木島平村、10/26飯山市・栄村のイベントで一般市民へかかりつけ医パンフレットと紹介受診重点医療機関についてのお知らせを配布	一般
10月	医療と介護・福祉の連携交流会にて、当院を取り巻く状況と当院の役割、紹介受診重点医療機関を目指す旨を説明	近隣6市町村のケアマネ、包括支援センター職員、訪問看護ST
10月	中高医師会病診連携懇談会にて診療実績報告、紹介・逆紹介率の報告。選定療養費7,700円の説明。	地域医療機関

* 広報課にて 北信総合病院だよりへの紹介受診重点医療機関を目指す旨の掲載
厚労省の「上手な医療のかかり方プロジェクト」から広報ツールを活用
(待合室にて放映)
4/26信濃毎日新聞にて皮膚科、小児科開設の説明、選定療養費の説明

20250925 紹介受診重点医療機関選定に係る現況調査資料 (2025.10.31 現在)

受診患者、地域住民、職員への情報提供実績一覧

日	媒体	内容	根拠となる資料
2023. 11	動画	厚労省制作「上手な医療のかかり方プロジェクト」広報ツール活用、中央待合室にて放映 (～2023 年度)	○対象：受診患者、家族 1. <u>CM「教えて上手な医療のかかり方」</u> 2. <u>CM「診療所編」</u> 期間限定理由：タレント契約が2024年3月まで
2024. 1. 1	広 報 誌	北信総合病院だより第94号発行 <u>【資料1】北信総合病院だより94号.pdf.pdf</u> 「紹介受診重点医療機関」記事掲載	○対象：地域住民、受診患者、職員 発行部数：26,600部 ホームページ掲載 <u>【資料2】病院だより配布部数(94号).pdf</u>
2024. 4. 18	新聞	「目立つスキー・スノボけが増加、23年度受け入れ463人」	<u>【資料3】2024.4.18 信濃毎日新聞掲載記事.docx</u>
2024. 5. 1	広 報 誌	北信総合病院だより第95号発行 <u>【資料4】☆病院だより95号(最終稿).pdf</u> 「紹介受診重点医療機関」記事掲載	対象：地域住民、受診患者、職員 発行部数：26,400部 ホームページ掲載
	動画	院内インフォメーションモニター(各科待合設置)にてかかり方考えよう(厚労省制作).jpgを放映	～現在
2024. 5. 26	新聞	「惨事ストレス早期ケア 救急隊員向け北信総合病院など」	<u>【資料5】2024.5.26 信濃毎日新聞掲載記事(1面)(2).docx</u>
2024. 9. 21	新聞	「紹介受診重点医療機関」認定制度 中野飯山の関係者から異論 [地方の実情にそぐわない] 国への改善要望相次ぐ	<u>【資料6】2024.9.21 信濃毎日新聞 北信版.pdf</u>
2024. 9. 27	新聞	「国の認定基準 柔軟な運用を 北信総合病院と飯山赤十字 行政に地域の実情訴える」	<u>【資料7】2024.9.27 北信ローカル3面.pdf</u>
2025. 1. 17	フリーペーパー(訪日外国人向け)	<u>【資料8】スノーモンキーガイドブック2025.pdf</u> 発行(日本語と英語表記にて県医療通訳コールセンター、当院の案内(地図、写真)が掲載)	
2025. 6～	テ レ ビ	北信クリニック開院 (テレビ北信ケーブルビジョン)	<u>https://youtu.be/xnKH_g3obCg</u>

作成 20251031 広報課

c:\Users\User\Desktop\2025.9.25 紹介受診重点医療機関資料(広報課) ☆ 【北信総合病院 広報課】 病院地域への情報発信実績.docx

		YouTube 配信 (視聴者 604 人)、ホームページ掲載	
2025. 7. 1	新聞	北信クリニック開院関連	<u>【資料 9】北信クリニック掲載記事一覧.pdf</u> <u>2025. 4. 26 信濃毎日新聞 11 面 (北信)</u> <u>2025.6.19 信濃毎日新聞 11 面 (北信)</u> <u>2025.6.20 医療タイムス (タイムス FAX)</u> <u>2025.6.27 北信ローカル (2 面)</u> <u>2025.6.28 北信濃新聞</u> <u>2025.7.1 信濃毎日新聞 (13 面)</u> <u>2025.7.1 日本農業新聞 (9 面)</u> <u>2025.7.4 北信ローカル (2 面)</u> <u>2025.8.20 日本農業新聞 (全国版)</u>
2025. 8		スノーモンキーガイドブック 2026Vol17. 掲載依頼 (日本語と英語表記にて県医療通訳コールセンター、当院の案内 (地図、写真) が掲載)	<u>スノーモンキーガイドブック</u>
2025. 10. 28	新聞	スキー・スノーボード外傷センター	<u>2025.10.28 信濃毎日新聞 1 面</u>
2025. 10. 29	〃	長野県議団「改革信州」視察 紹介受診重点医療機関、北信クリニック、外国人診療ほか説明	<u>2025.10.29 日本農業新聞 11 面</u>
2025. 10. 30	〃	北信病院、県議団へ要望 紹介受診重点医療機関、北信クリニック、外国人診療ほか説明	<u>2025.10.30 信濃毎日新聞 11 面</u>
2025. 10. 31	〃	税制支援の格差が課題 紹介受診重点医療機関、北信クリニック、外国人診療ほか説明	<u>2025.10.31 北信ローカル 2 面</u>